### 節目の年、日本の

## 伝統文化と誇り ④

●【日本は侵略国家ではない】
●【日本は侵略国家ではない】
●【日本は侵略国家ではない】
●【日本は侵略国家ではない】
●【日本は侵略国家ではない】
●【日本は侵略国家ではない】
●【日本は侵略国家ではない】

ないものだったに違いありません。 はアメリカにとって、聞き捨てなら 家ではない」という田母神氏の主 同盟国です。しかし「日本は侵略国 判に転じ、防衛大臣も田母神氏を解 いました。ところが、ある時から ではない。正しい事をした」という趣 ました。 その論文が「日本は侵略国家 本のマスコミは猛烈な批判を浴び 大東亜戦争開戦前、アメリカにとっ た結論が、アメリカによる圧力でし 雇する方向に動きました。行き着い 太郎氏もその論文の内容に共感して 旨の内容でした。当時の首相・麻生 この論文に対して中国や韓国、 アメリカにとって日本は大切な 本は悪の帝国でした。悪なる国 批 せ

> 無差別に人々を殺害しても良いと判断 「第二次大戦中にナチス・ドイツが 上ました。これはさながら**ホロコース** ト(第二次大戦中にナチス・ドイツが を行い、日本を徹底的に断罪しました。 を行い、日本を徹底的に断罪しました。 を行い、日本を徹底的に断罪しました。 を行い、日本を徹底的に断罪しました。 を行い、日本を徹底的に断罪しました。 を行い、日本を徹底的に断罪しました。 を行い、日本を徹底的にあると決め でしることだけを目的にしてマッカー かけることだけを目的にしてマッカー かけることだけを目的にしてマッカー かけることだけを目的にしてマッカー かけることだけを目的にしてマッカー がます。

## ●【マッカーサーと東條英機】

purpose, therfore, in going to war was ることで大東亜戦争は日本が自衛のた 東京裁判そのものと朝鮮戦争を体験す に迫られてのものだった」と。東京裁判 び込んでいった目的は、大部分が自衛 威をまざまざと見せつけられた時でし 性に気付いたのは大東亜戦争の後、 で日本を侵略国として裁いた張本人が、 人〉 は恐れていました。 **彼らが戦争に飛** 者が発生するであろう事を彼ら〈日本 たら、一千万から、一千二百万の失業 し、これらの原料の供給が断ち切られ いて、次のように証言しています。「も 年の米国上院軍事外交合同委員会にお マッカーサーは昭和二十六(一九五一) た。GHQ最高司令官だったダグラス・ 鮮動乱を通して共産軍の侵略行為の脅 アメリカが自らの過ちと日本の正 にやったものだと。《Their

> 裁判では開戦責任問題は素通りしてし そしてマッカーサーは東京裁判が終結 り、戦争に引きずり込まれたのだ」とい それはA級戦犯として絞首刑に処せら まったというわけです。 メリカにも及ぶことが分かって、東京 確になり、その中国を支援していたア かえってその責任は中国にある事が明 日本の開戦責任を問い詰めれば藪蛇で、 でない何よりの証左(証拠)と言えます。 アメリカ上院の軍事外交委員会で証言 う主旨の宣誓日述書を提出しています。 全く同じである事にも注目しなくては れた東條英機が裁判で証言した内容と しているのです。これは日本が侵略国 ったのは主として自衛の為である、と した二年後に、日本が戦争に入って た東条英機は、「日本は常に受け身であ いけません。東京裁判で被告人とされ に迫られての事だった)》と述べました。 V

といます。 といます。 といます。。 といます。。 といます。。 といます。 といます。 といまが、 といまである証言はあり といまである証言はあり といまである証言はあり といまである証言はあり といまが、 といまである。 といまでもの。 といまでもの。 といまでもの。 といるでもの。 といるでもの。 といるでもの。 といるでもの。 といるでもの。 といる。 といる。 といるでもの。 といる。 といるでもの。 といるでもの。

にものが言える立場です。その田母神評論家です。何にもとらわれず、自由田母神俊雄氏の現在の肩書きは軍事

った動機は、大部分が安全保障の必要て彼ら [日本人] が戦争に飛び込んでいlargely dictated by security(したがっ

**備する兵器**です。これは旧ソ連 書いてあることで、今の中国はこ 本の自衛隊が装備する兵器は世界的 のは確かですが、問題は中国軍が って、最大の弱点と言えましょう。 くて中国に有るものがある。それは の姿勢を維持しています。日本に無 しない」とは毛沢東の『人民戦争論』 ります。「勝てる見込みのない戦争は た動きが出てくるようなレベルにあ 機などは日本独自で開発を、といっ ることをさらけ出した代物です。 ソ連、ロシアの兵器は中東戦争でア に武器を供与する場合、最先端のモ してロシアから供与されたものがべ 氏が、中国は戦争はしない、できな 核兵器です。これは日本の防衛にと に見ても第一級です。最近では戦闘 メリカのそれよりも遙かに劣ってい ースです。そして**同盟国であれ他国** いと言うのです。 ノを出すことはありません。 しかも 張させ軍事力の増強に努めて 中国が軍事費を

## ●【集団的自衛権の容認】

否定されるのは当然のことです。 迎されるでしょうが、 大衆迎合的な政治は、その時には 闘争の時も、PKO法案の時もそう ると思います。しかし後世振り返っ ウェーバーですが、今回の安全保障 想と現実との間のバランス感覚が求 卑近な現実を変更するための努力を ません。高邁な理想を実現する為に、 理想に溺れる政治家であってもいけ 想を持たない政治家はダメですが 国憲法を改正する必要があると思 民意に依って、後先を考えずに行う 評価されるべきでしょう。瞬間的な 価される決断を下した政治家こそが と指摘されていましたが、その通り 家は「歴史における被告席に座る」 でした。中曽根康弘元総理は、政治 が来ると思っています。これは安保 で騒いだのだろう?」と思われる時 わされて、恐怖している人も存在す おられるでしょう。悪質な煽動に惑 適うものになるだろうと思っていま 法案の整備は、必ず我が国の国益に である」と指摘したのは、マックス・ 見識を必要とする力強い緩慢な仕事 政治とは「固い板に、錐(きり)で少 められる事は言うまでもありません。 重ねなければなりません。そこに理 だと拍手を送りたいと思います。 た時に、「どうして、あの時あそこま しずつ穴を開けていくような情熱と 現在、不安に思っている国民が 安全保障の問題に関して、日 後世振り返ってみた時に、評 歴史によって

認識が表明されています。 でりの良い、何ともナンセンスな国際信頼して、われらの安全と生存を保持信頼して、われらの安全と生存を保持にようと決意した」という、何とも耳に乗るかについて、全く書かれています。この憲法には、日本をいる識が表明されています。

瀊摝牃鰇攠摝鵣摝鵣摝鵣鵣鵣鵣鵣鵣鵣鵣鵣

# ●【終戦七十周年というターニング・ポ

リカによって占領政策が行われた事 ました。それは「善か悪か」が、社会の う教育が施され、それが善とされてい きな要因と言えるでしょう。戦前の な高度経済成長を為し遂げた一つの大 的に拡大した事は、日本が戦後奇跡的 きもありましたが、これにより経済的 立されました。駅弁大学と揶揄する向 制度が導入され、多数の新制大学が設 員で平等に相続されるようになりまし **利が尊重される**ようになりました。ま 改正で国民主権が定められ、個人の権 た。四ヶ国に共同管理されて東西分裂 きなターニング・ポイントとなりまし 価値基準になっていた時代と言え 本では、個人は全体のためにあるとい に豊かな大卒人口が増え、消費が飛躍 た。更に教育改革でアメリカ式の学校 できなかった親の財産が、兄弟姉妹全 た民法改正で、それまで**長男しか相続** 不幸中の幸いでした。具体的には、憲法 が日本を民主的な国家へと導いた事は に見舞われたドイツに比べ、アメリカ 振り返れば七十 戦後日本の方向性を決定づける大 年前の敗戦時、 アメ

迎えました。そして衣食住が満たされ、 覚しなければなりません。 先祖の魂を譲り受けている私達は今、 です。いま、憲法改正の議論が高まり 偽物は悪という極端に走ってしまう事 時代に注意すべき事は、本物は善で、 です。現在のような「本物か偽物か」の 事に的確に処する上でとても重要な事 ようになりました。このように社会の 用した偽物が出回ったり、私達は次第 ド品も持てはやされ、大衆の心理を悪 商品が求められるようになり、 りも、見た目や個人の好みを重視した り、社会の価値基準は、「好きか嫌いか」 きな暮らしをしたいという欲求が高ま 生活が豊かになってくると、各人が好 賛される黄金の七十年代、八十年代を 基づいて高度成長を為し遂げ『ジャパ 重要な岐路にさしかかっている事を自 の世を頼む」と願って散っていった親 の未来は大きく異なっていきます。「 し続けている事実を理解する事は、 価値基準が二十~三十年の周期で変化 に「本物か偽物か」を判断の基準とする って歩んでいくか。それによって日 つつあります。いかなる価値基準に へとシフトしていきました。機能性よ ン・アズ・ナンバーワン』と世界から絶 なりました。 て個人の権利が重視される時代に入る ます。これが**アメリカの占領政策を経** 「損か得か」…日本はこの価値基準に 「損か得か」が、価値基準の主流に 「善か悪か」に比べて、 ブラン 物 本

合 掌 副住職 谷川寛敬

